

- 平成16年度 高度通信・放送研究開発に係る研究開発委託先の決定について
 - 平成17年1月13日
-

独立行政法人情報通信研究機構(以下NICT。理事長:長尾 真)では、平成16年度当初予算に基づき、本年度から新たに行う以下の6テーマの研究開発について研究開発委託先を公募したところ、7件、のべ12機関から応募がありました。

NICTでは学識経験者から成る評価委員会の審査に基づき、別紙のように研究開発委託先を決定しましたのでお知らせいたします。評価委員会のメンバーは、Webページ(<http://www2.nict.go.jp/q/q265/s802/info/iinmeibo040729.pdf>)でご覧いただけます。

- (1) 超高速ギガビット無線LANの研究開発
- (2) ICカード等における認証のための高度な暗号技術に関する研究開発
- (3) 素因数分解の困難性に基づく暗号の技術的評価に関する研究開発
- (4) 光通信波長帯量子制御光変復調技術の研究開発
- (5) ナノ技術を活用したワイヤレス通信技術の研究開発
- (6) ブロードバンド・プラットホームにおける異機種混在システムの資源統合連携の動作状況モニタリング技術および自律制御技術の研究開発

※ 各テーマの概要は、NICT Webページ内の以下のURL「平成16年度 高度通信・放送研究開発に係る委託先の公募について」を参照。

<http://www2.nict.go.jp/q/q265/s802/info/20040929koubo.htm>

<問い合わせ先>

情報通信研究機構 総務部 広報室
大崎祐次、大野由樹子
Tel: 042-327-6923、Fax: 042-327-7587

<担当部門問い合わせ先>

情報通信研究機構 研究開発推進部門
委託研究推進室
曾根裕、由田卓也
Tel: 03-3769-6810
Fax: 03-5441-7584

平成16年度新規委託研究テーマ(6テーマ)採択結果

研究テーマ	委託先候補
超高速ギガビット無線LANの研究開発 (平成16年度5年間)	(株)国際電気通信基礎技術研究所【幹事】 富士通(株) 沖電気工業(株)
ICカード等における認証のための高度な暗号技術に関する研究開発 (平成16年度3年間)	(株)日立製作所
素因数分解の困難性に基づく暗号の技術的評価に関する研究開発 (平成16年度から3年間)	富士通(株)
光通信波長帯量子制御光変復調技術の研究開発 (16年度から5年間)	(独)産業技術総合研究所【幹事】 (独)物質材料研究機構 日本大学
ナノ技術を活用したワイヤレス通信技術の研究開発 (16年度から3年間)	(財)半導体研究振興会
ブロードバンド・プラットフォームにおける異機種混在システムの資源統合連携の動作状況モニタリング技術および自律制御技術の研究開発 (16年度から6ヶ月間)	日本アイ・ビー・エム(株)